



千歳の元気企業「水産復活」

今回取材させていただいたのは、公設市場 2 階に新事務所を構える 株式会社 恵千フーズ様 です。

2013 年 8 月に取材させていただいた時には、石川社長より「市場の活性化」「地産地消」特に「水産部門の復活」という熱い思いを聞かせていただきました。あれから 1 年の間に、今年の 3 月には水産物の卸売り業務の道知事許可を、4 月に千歳市長許可を得て、6 月 4 日には事務所移転と水産部門の立ち上げの神事を、無事に終えられました。そこで改めて社長に今後の方針について伺いました。

Q：新たに復活した水産部門への意気込みをお願いします。

A：1986 年、市場最盛期には 31 億円という売上がありました。2005 年 7 月には一時撤退し、9 年の時を経た今、あの頃を超えるようなドラマチックな盛り上がりに戻していきたい。更に千歳をはじめ近郊地域の活性化を図ります。



意気込みを語ってくださった
石川社長

Q：無菌室の野菜の加工工場を作られた理由は？

A：現代社会は少子化・高齢化が進み、手間のかからない便利なものが必要とされています。カット野菜は日常の食生活、または食に関わる企業の皆様に気軽に利用して頂けます。北海道産の安心安全な野菜を提供したいと強く思い、加工工場をスタートしました。

新事務所の様子

Q：地域密着・地産地消への意気込みは？

A：実は千歳は北海道でも有数の農業王国ですが知名度が低い。千歳市はおいしい作物が産まれる町。道内をはじめ全国の消費者へお届けしていきたい。



Q：今後の取り組み、抱負をお願いします。

A：地域や市場を盛り上げるには買受人が必須です。残念なことに遠方の市場を利用している方が多いのが現状。水産の卸として地の利を生かし買受人を増加させていきたいと思っています。

取材させて頂いて社長の熱い思いが伝わってきました。
千歳の元気印の企業として市場を活性化させていってください。



社長の娘さんの自信作
恵千フーズさんのキャラクターマーク

< Eyes : 田中 >

毎日を頑張る女子のための指サック PLUS「メクリッコ Sweet」新発売！



1988年発売以来25周年を迎えたプラス『メクリッコ』シリーズに、カラフルでキュートな『メクリッコ Sweet』が登場しました。

シリコン製のためゴムのいやな臭いは気になりません。もちろん従来の機能はそのまま健在です。モチーフ部分はリングと一体成型なので取れる心配はなく、実用的でかわいい指サックが欲しかった方は要チェック！の商品ではないでしょうか…。

愛らしい「ハート」と優しい印象の「フラワー」の2タイプ。

2色3サイズ、計12タイプあります。

1パックは3個入りで、メーカー希望小売価格 各300円(税別)

まるでネイルアートのようなかわいらしい指サックで

毎日のお仕事を HAPPY に♪



「やっと折り返し。あと50年は走り続けます!？」

6月1日に行われた第34回千歳JAL国際マラソンに参加してきました。大会には、全国47都道府県をはじめ海外からもエントリーされて、1万711人が出場し、1万225人の方が完走したそうです。昨年初出場した公務員ランナーの川内選手は、ゲストランナーとしてフルマラソンに出場したそうです。サッカーJ2のコンサドーレ札幌からは、元日本代表の吉原さんも出場されました。

朝から好天に恵まれてちょっと暑いぐらいで、夏を思わせる日差しでした。私は10km男子40歳以上の種目にエントリーしまして、無事に完走致しました。(今度はハーフに出れるように頑張ります) ネットタイムは1時間3分20秒で、種目順位は457人中291位、総合順位は1200人中748位の結果で終わりました。去年同様今年も練習もせずにつぶつ本番で走ったものですから、かなり疲れしました。距離は10kmなのですが、アップダウンのコースがあるため、後半はペースが思ったよりダウンしてしまいました。スタート時間も12時30分でしたので午後の暑さにもやられてしまいました。それでもゴールした瞬間は、今年も走りきった満足感の気持ちで、自分をほめてあげたいと思いました。(どこかで聞いた事ある言葉のような...)とても苦しかったけど、立ち止まるとはいけないと言う気持ちと自分に負けてたまるか!と言う意地だけで無心になり走ってました。(一本当は、早く帰りたい気持ちでいっぱいでした。)沿道からおくられる声援は、とても励みにもなりました。私自身、今年で何回出場したのかは覚えていませんが、昔は9月に開催して今みたいに参加者もそんなに多くなくて、スタート地点も北海道銀行(まるせんデパートだったかな?)の横の道路からだったと記憶しています。(…第何回だったかな?)スタートの合図と共に走り出して、千歳市役所の交差点を右に曲がり、千歳図書館に向かってあの坂を上りきった事が昨日の事のように懐かしく思い出されます。もう20年以上も前の事になると思います。いつまで継続出来るか解りませんが、無理せず体の続く限りエントリーしたいと思っております。

機会があれば、皆様も是非参加してみてもいいでしょうか?今後ともよろしくお願い致します。



< 営業第一G : 佐藤 >



『2014年』



こんなに若い頃から走っています(昔は他の社員も多く参加していました)

「気ままに一人旅」

私は年に数回道外(主に東京)へ行きます。北海道では開催されないイベントやコンサートに行くことが目的です。基本的にインドア派で、休みに行動的に活動したり旅行に行くことや、イベントやライブに行くことが趣味だったわけではなく、一人で旅行なんてできないと思っていました。

自分自身いい年齢になってきて、このままの毎日でもいいのか?このままの自分でもいいのか?と悩んでいた時期があり、そんな時に海外の俳優さんが来日してファンミーティングをすることを知りました。

「会いたいけど東京だから無理」と初めは思ったのですが、よく考えると世の中こんなに交通の便が良くなってきていて、最安値なら5000円程度で東京まで行ける昨今になぜ無理だと思うのか、自分で不思議になり「できないと思う自分」を変えるきっかけとして東京へ行くことを決めました。

「一人でコンサートに行くこと」「一人でレストランに入ること」
「現地で友達を作ること」「空いた時間をうめること」
なんだかこれが出来ても淋しい人だと言われそうですが・・・

旅行だけではなくほんの小さなことでも、今までできなかったこと・やらなかったことに挑戦すると、新しい発見がありますよ。

< SHINKA : 兼澤 >



創業時から長く永いご支援をいただいている大丸藤井(株)様の当社担当で、9年間、大変お世話になった今野達サンと外山創平サンが異動との事で、先日有志で送別会を開催。家族との別れのように何だか寂しいのですが、異動先でもご活躍される事をお祈りします。



発行元 : (株) カミノ
TEL : 0123-23-4255 / FAX : 0123-24-1381
E-mail : kamino@kamino.co.jp
ホームページ : <http://kamino.co.jp/>
(カミノトピックスのバックナンバーもご覧いただけます)